



グローバル COE 物質科学イノベーション講演会

**演題: New Metallochaperone Functions for the Copper
Chaperone for SOD1(CCS) in Amyotrophic Lateral
Sclerosis**

**講師: Prof. Thomas V. O'Halloran
Northwestern University, USA**

日時: 2007年11月30日(金) 15:00 ~

場所: 理学部5号館2階5-2-05号室

**共催: 理学院「魅力ある大学院教育」イニシアティブ
～高邁なる大志を抱いたT型化学者養成～**

要旨: 生体内で活性酸素を処理する Cu, Zn 含有 SOD への Cu イオンの添加には, Cu のシャペロンタンパク質である CCS による SH 基の酸素依存的酸化反応とジスルフィド架橋の異性化反応が重要であることを見出した. 一方, このような翻訳後修飾に異常が生じると, 未成熟な SOD1 の細胞内での凝集が観測された. これらの結果から, SOD1 の翻訳後修飾の不全と神経疾患の一種である筋萎縮性側索硬化症 (ALS) の発症の相関について議論してみたい.

本公演は『化学研究総合講義Ⅱ』の一部として認定されております

連絡先: 大学院理学研究院化学部門構造化学研究室
石森浩一郎 (内線: 2707)

「魅力ある大学院教育」イニシアティブ
高邁なる大志を抱いたT型化学者養成
T-type Chemists with Lofty Ambition